

最高の運動会にしていこう！

校長 松本 雅史

昨日は、小平市民祭りがありました。小平市内19校のよさこいチームが、小平駅南口前のアカシア通りに集結して、華麗に踊りを披露しました。私たち八小のよさこいも、流れるような見事な舞を披露してくれました。皆さんは、八小よさこいに新しく名前が付いたのを知っていますか。

「八小よさこい『彩々楽』」といいます。彩々楽の皆さん、本当に素晴らしかったです。活躍ありがとうございました。



さて、みなさん、いよいよ今週の土曜日は、待ちに待った運動会です。1年生は小学校初めての運動会、6年生には最後の運動会です。楽しみにしている人も多いと思います。運動が得意だったり、足が速かったりする人にとっては、まさに活躍の場です。でも、得意な人ばかりではないはずです。中にはあまり楽しみでもないんだよな、という人もいるかもしれません。

校長先生は、八小の運動会は、運動の得意、苦手に関係なく、みんなが楽しかったと心から思える運動会にしたいと思っています。一人一人が「楽しかった」となるために、校長先生は、大切なことが2つあると思います。いまからそのことを話します。

一つ目の話をする前に質問します。

皆さんにとって「楽しさ」とは、だれかにしてもらったり、サービスしてもらったりするものですか？それとも、自分自身の手でつかみ取るものですか？もし楽しさが、誰かからしても

らうものだとしたら、つまらなかつたらそれは誰かのせいです。しかし、楽しさは自分自身でつくるものだと思っている人は、たと思いうような結果でなくても、次はこうすれば楽しくなるな！と、自分をよりよく高め続けていくでしょう。

校長先生がみんなに伝えたい「楽しい」こつは、「全力でやる」ということです。もちろん、相手も全力でくるのです。全力と全力でやるから楽しいのです。戦いに勝ったとき、調子に乗って「お前たち、弱かったな！」などと、相手をバカにするようなことをいう人がたまにいますが、この人は一番大切なことが何も分かっていない人です。本気と本気がぶつかるから、そこに火花が散るのです。全力同士がぶつかると、相手に尊敬の気持ちがわきます。全力で戦ってくれた相手に感謝の気持ちがわきます。全力だからこそ、そこに絆が生まれるのです。正々堂々とやりましょう。

二つ目は、「力を合わせる」ということです。どうしたらみんなが楽しくできるか、これも本気で考えて協力するのです。たとえ失敗しても、決して責めたりせず、励まし合い続けるのです。強いチームは仲がいいです。一人もさみしい思いをしないように声を掛け合って、このチームでよかったと心から思えるチームを一人一人の心でつくっていきましょう。

運動が苦手だなという人、運動会はそれほど楽しみなわけじゃないんだよなという人も、今お話した「全力でやる」「力を合わせる」を本気でやってみましょう。運動会は全校のみんなが、「全力でやる」「力を合わせる」を本気でやるイベントです。これまでに経験したことのないくらい「全力でやる」「力を合わせる」を本気でやったら、すごく気持ちいいと思います。

では、残り1週間、風邪をひかないように、けがをしないよ

うに、毎日しっかり寝て、元気に思いっきり運動会を楽しみましょう。